





※ CAUTION ※

この本には数字松の過去ねつ造や
世界観の解釈違い等が含まれておりますので
購読の際は自己責任でお願い致します。

■ 秘密の場所





一松兄さんに
だけ特別!



そっ……か……



綺麗なネックレス!

兄さんみてみて!
こんなの見つけた!

あ



兄さんに
あげ……

しゅ

お



……?
……?



……ッ



また今度
見つけて
あげるね!!

そっかまー

……



なあんだ
そんなに
欲しかったの?

……うん……

……



僕ねこの秘密の場所で
まだ行ったこと無い
場所があるんだ

スワ スワ...

十四松...?



ねえ兄さん

あ?



あっち



行くときは
兄さんとって
思ってたんだよね

十四松ッ

きつと楽しいよ!
ここよりも
綺麗な場所かも!

十四松!!



ホント!?
やったあ!

…わかった

でも



もう遅いし

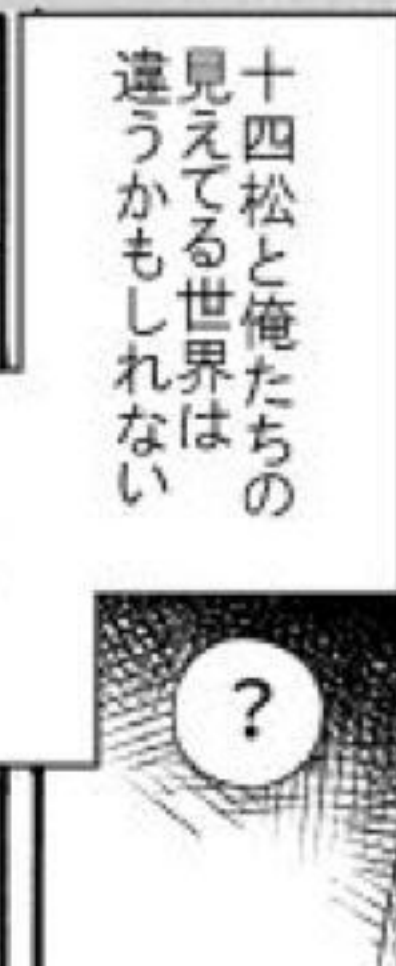


みんな心配
するから…



今日はもう帰ろう





十四松が見てる
世界は
俺たちの見てる
世界なんかよりも

優しくて
綺麗だ

早くしないと

置いてくよー！

END

世界が減びる3分前



「カップラーメンも作れるね」

■ 痛み



何してたの？



一松兄さん







兄さんの痛みが
わかるでしょ？

だって…
こうすれば

痛い…

兄さんずっと
辛かったんだね…





十四松…



こうする方法しか
わからないんだ

ごめんね…

僕馬鹿だから



お前は馬鹿
なんかじゃないよ

十四松っ……!



お前は世界で一番
優しい奴だよ

あー！

ってか！
兄さんももう
こんなことやめよ！
痛...

……うん……
あー



END



僕は知っていた
「いつ」十四松が十四松となったのか

本当は知っていた
「どこで」十四松が十四松となったのか

けれど僕は思い出せなかった
「誰が」十四松を十四松にしたのか



僕はわからなかった
「何を」して十四松は十四松となったのか

僕は知らなかった
「何故」十四松が十四松となってしまったのか

僕は知るよしもなかった

真実が必ずしも幸福であるとは
限らないと...

真実の涙

兄さん…
助けて…

こわいよ…
ねえ…





昨日あんな話を
したからだろうな



夢...



昔のアイツは
泣き出すと
すぐに

俺の後ろに
隠れるような
奴だったのに



十四松が十四松に
なったのは

俺達が高校に
上がった
ばかりの時だった





そういえば...



それが
今となつては

とにかく
底抜けに
明るい馬鹿だ

しまっま

十四松

十四松

十四松

十四松!



アイツが
泣かなか
なつたの
は
いつか
からだっ
け...



俺も昔は真面目で
優等生だったな...



まあ
今となつては
ただのゴミだけど



俺と十四松は
六つ子の中でも
成績が優秀だった

第一高等学校入学式

そのおかげで
県一の進学校へと
進学することが
できた

このまま全てが
上手くいくと
思っていた

一松兄さん

一緒に帰ろう

しかし人生は
そんなに甘くは
なかった





じゃあ帰ろう
十四松

うん…

そう…
約束したのに…

天才的な
十四松とは
違って

みんなに
追いつくために
夜中まで
予習復習をして

案の定すぐに
授業はついて
行けなくなり

次の日の授業中に
寝てしまう
悪循環

報われる
ことのない

どんなに
がんばっても
がんなばつても





地獄

入試問題集

そんな地獄の日々に心が疲弊していった

兄さんあのね

あのさ十四松

もう子供じや
ないんだから

自分のことくらい
自分でしてよ

大体さあ

違っ…

：お前俺なんかより
頭いいんだから

もう少し頭使えば
この状況も
何とかなるんじゃないの？



そうじゃ...
なくて...

兄さん...違...



お前がッ



あれ：俺
あの時十四松に
なんて言った
んだっけ：
それに：
あの時の
十四松

何かを
言いたそう
だ



何を伝えようと
してたんだ：？



ただい
マ——ツスル!!

じゅっ…
十四松…

あ——!!
一松兄さん!!

今日
帰ってくるの
早いね

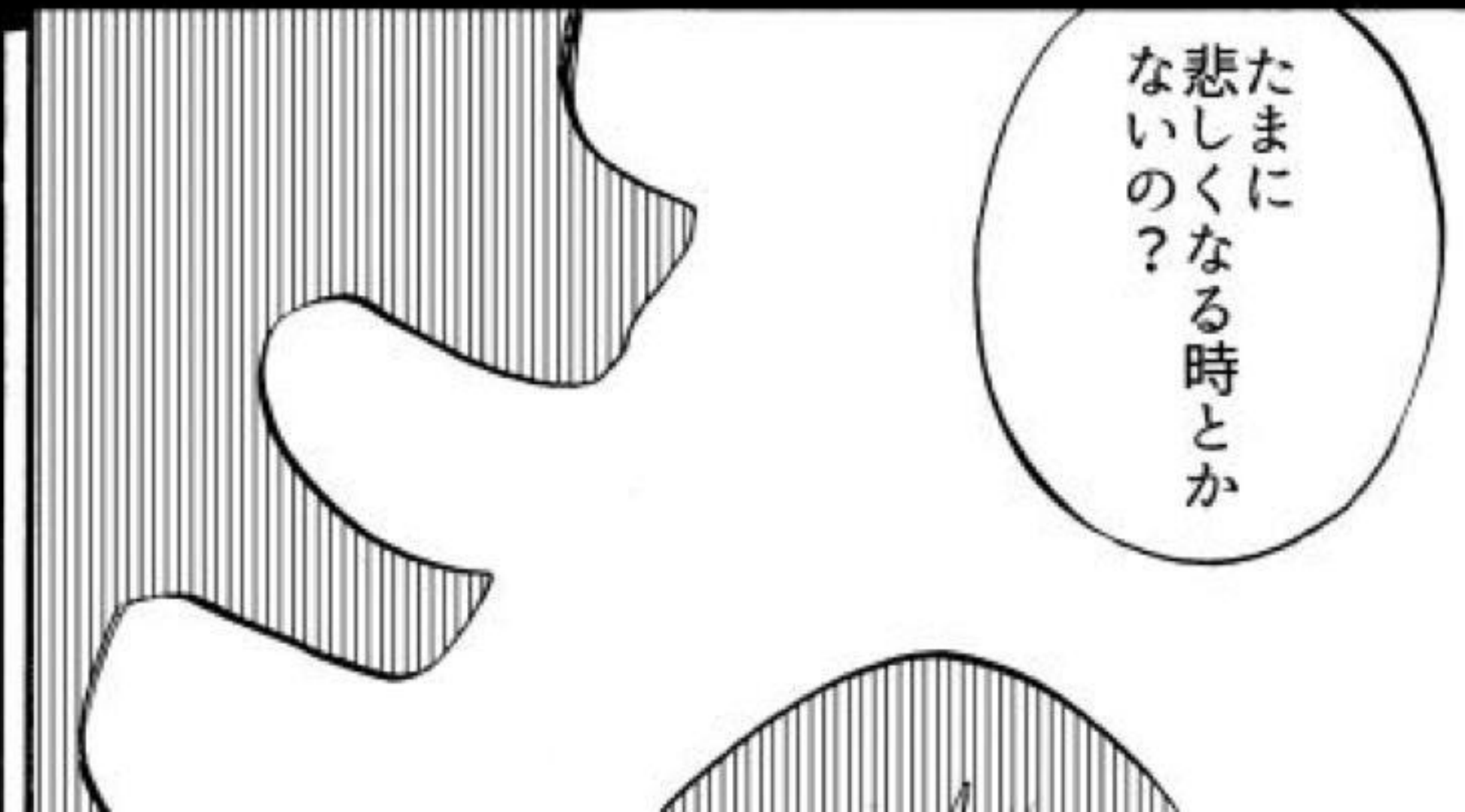
うん!!なんか
雨が降って
きそう
だったから!!

今日雨の
予報と
たっけ…

今日
帰ってくるの
早いね
うん!!なんか
雨が降って
きそう
だったから!!

…一松兄さん

あそう…





何で…

えっ…
じゃあ



何で

泣かないの？



何でって

一松兄さんが
言っただんでしょ？



あれは僕たちが
高校一年生
だった頃の話だよ

えっ……？

覚えてないかなあ……

僕はまた先輩達に暴力を受けていた……

オラ十四松

立てよ

ゴッ

やめて……!



今日までに5万
持って来いって
言つてたよなあ



兄さん……

助けて……



助けて……

兄さん……

一松兄さん……

兄さん？

そうか……
いいことを
思いついたぞ



まずは先に
兄ちゃんの方
やっちゃんか!?

そいいな!


守ってやるから…

…だめ…

一松兄さんに
手を出すなあ!!

!!?






泣いてばっかり
いるから
こうなるんだろ!!




えっ…



泣くなよ!!
もう
高校生だろ!?

泣いてばっかり
いるから!
目をつけ
られるんだよ!!



お前が
そんなんだからっ…

俺は……ッ



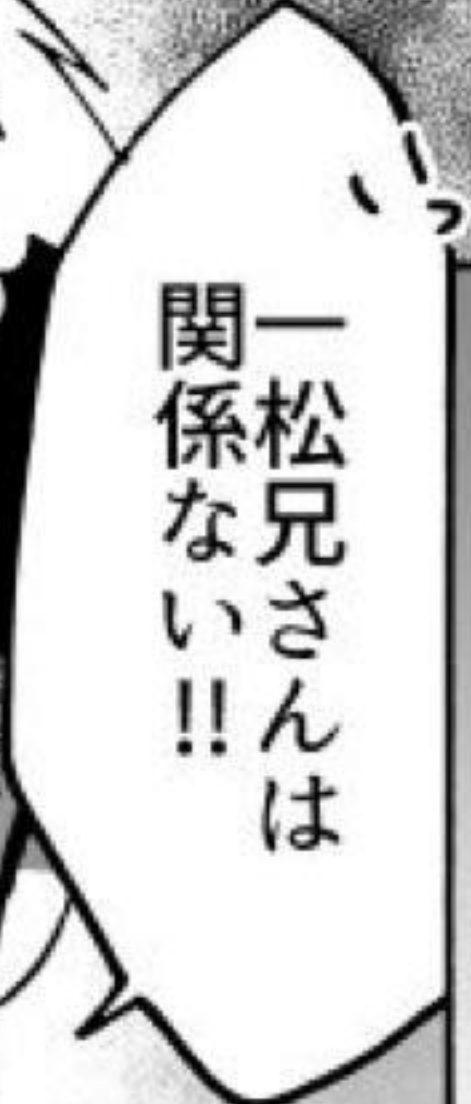
僕が泣くから？

僕のせい...？





もう僕達に
関わらないで
いただけますか!?



一松兄さんは
関係ない!!



ああ!?



泣いちゃだめだ

誰に向かって
口聞いてんだ
てめえ!!

まあ!?



……は……



……



お前が
そんな
だから
俺は……!!



泣くな!!





なっ…
何なんだよっ…!!



!?

ハハッ!!
何だ

威勢だけ
かよ



だから僕
兄さんには
感謝してるんだ

兄さんが僕に
喝を入れたから

いじめられ
なくなっ
たし
世界が凄
綺麗に見
える
よ
う
な
っ
た
ん
だ

思い出した！
俺…十四松だ

兄さんがいなかったら

僕は存在して
いなかった
かもしれない

あんなひどい
コトを……

十四松が

十四松となつた
原因は

ま
じゆ……しま……つ

一松兄さん
のおかげで

俺だ……

僕が僕に
なれたんだよ

兄さん
泣かないで

僕兄さんには
本当に感謝
してるんだよ

よ……
よ……





泣いちゃ
駄目だったて



END



■僕だけの秘密





僕なら絶対
可愛がって
あげられると
思うんだけどなあ〜

所詮かわい
スイトツ系
名前とか付
可愛い服着
イン●タに
だけね貰い
ででしょよ
たいげせて

ちっ違…!



もー
本当一松兄さんて
猫以外の動物に
愛情なすぎ!

感情まで
猫なんじゃない?

いや褒めて
ないから

ヒヒッ
あざーっす



僕は知ってる
何で一松兄さんが

猫以外に
興味を
示さないのか





一松兄さん



十四松……？



なっ えっ!?



えへ

こっそりついて
来ちゃいました!!



ままじから

マジマジ!!
何してた…!!

の…?



ホチ松…

…今日は
アイツの命日
だから…



こいつの好きだった
おやつとか…
持ってきた

覚えてたんだね

だって
寂しいだろ?

自分が死んだ日を
忘れられるのはさ

猫と違って犬は
死ぬときに姿を
消さない

だから
一松兄さんは
犬が苦手なんだ

優しいんだね
兄さんは

昔僕達は
犬を飼っていた

けれど
たった2年で
死んでしまった

家族が死ぬのを
見たくないから

一番悲しんで
いたのは
一松兄さん
だった

その時
みんなが
悲しみが
ついで
いたけど



あれから僕たちは
犬を飼っていない

もうあんな
悲しい思いを
したくないと
思ったから。

それなのに
僕達はすっかり
そのことを
忘れていた

ごめんね…
ポチ松

もう
いいんでっか？

また来年も
来るから

行こう

うん



一松兄さん!!





伝えたいんじゃないかと思っただから!

ポチ松が死んだのはやー松兄さんのせいじゃないって

なんで...
そんなこと...



そんなわけっ

あるよっ!!

ポチ松のことは
残念だったけど

誰も
一松兄さんを
責めてなんて
いないよ

むしろ一松兄さんが
助かって安心した
ポチ松には
感謝してるんだよ

きっとポチ松も
同じキモチ
だったんじゃないかな

……お……





ゼーンゼーン!

一松兄さんが
犬も猫も家族も
みーんな
大好きなことは

僕だけの
ひみつ



ありがとう。

あとがき

■はじめまして天音と申します。今回はカラーから離れ初の数字松本を描かせていただきました。
松にハマったきっかけが数字松だったこともありずっと彼らの本を出したいと思っていたので今回描くことができとても満足しております。
内容に関しましては賛否両論があるかと思いますがあくまでも「私の中の数字松」となっていますので広い心で受け取って頂ければ幸いです。

■アニメ1期2話のドブ川を泳ぐ十四松を見て「もしかしたら十四松にはこの川がとても綺麗なプールのように見えているのかもしれない」と考えて浮かんだ話が「秘密の場所」でした。
この漫画を描いてた当初は受け入れてもらえないのではないかと不安でいっぱいでしたが、想像以上の評価をいただきとても嬉しかったので僥越ながらこの度リメイクし再録させていただきました。

ちなみに「真実の涙」は「秘密の場所」の続編となっております。
綺麗なだけでない彼らの人間臭い部分を描きたかったので少しでもそれが表現できていれば嬉しいです。

■暗いお話ばかりでしたが私はどんな数字松も大好きです。
これからもいろんな数字松を描けたらいいなあと思っています。
これからもカラーや一松中心に活動していくつもりなのでよろしければまたお手に取って頂ければ嬉しいです。
余裕があれば今度は筋肉一本なんかを描けたらいいなあ…！

初版：2017/01.29発行
第2刷：2017/02.28発行

「秘密」

翔く☆マカロン/天音

印刷：日光企画様
Mail：aometubasa@gmail.com
Twitter：@AMN_Gs1
Pixiv：1116262



※無断転載、複製、ネットオークションサイトや
フリマアプリ等への出品禁止※

OSOMATSUSAN Un Official Fan Book

1+14

2017.02.28

翔く☆マカロン

秘密